



## 久喜メディカルクリニック新聞

KUKI MEDICAL CLINIC NEWS 2015年 秋月号 広報委員 四方田晃平・武藤政志

〒346-0022  
埼玉県久喜市下早見 1183-1  
TEL: 0480-25-6555  
<http://www.kuki-med.jp>

いよいよ秋も深まり、

天高く馬肥ゆる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

これからますます寒くなりますが、風邪を引かないよう暖かくしましょう。

広報委員 四方田晃平・武藤政志

### 新入職員挨拶 看護助手仕事内容

4月に入社し、7月から正社員になった杉田知子です。  
慣れない事ばかりで勉強の毎日ですが、  
患者様の笑顔が見られるよう、頑張っています。



病棟での看護助手の仕事ですが、清拭(体調の変化確認)、体交(褥瘡予防)、入浴介助、ベットメイキング、検査等の誘導、食事の配膳、下膳、食事介助等…。ナースの指示のもと患者様の身の周りのお世話等を行なっております。

その他に医療器具の消毒、滅菌など衛生面にも関わっています。

特にこれからの季節インフルエンザが流行ってきます。インフルエンザから身を守るために手洗い、うがいなどこまめに行いマスクを着用して感染予防に心がけています。その他、感染を防ぐために加湿器などで湿度を50～60%に保つことも大切なので、病棟では各病室に空気清浄器を完備し、11月からは加湿器の設置を予定しています。

その他の予定として、12月には冬掛け布団に変更、フックスかけを予定していますのでご協力よろしくお願いたします。

患者様が安心安全に過ごせるよう、努力していきたいと思います。

## ヒューマンエラーのお話しー間違い検知力！？いや非検知力？ー

■つぎの文章を、意味がわかるように読んで下さい。

こんにちは みさなん おんげき ですか？

わたしは げんき です。

にんげ は もじ を にしんき するとき

その さしいよ と さいご の もさじえ

あいてれば じばんゅん は

めくちちゃ ども ちんやと よめる。

■どうですか？むしろ文字どおり読むほうが読みづらいかもしれません。

■この能力がわざわざいして、思い込みとして文字情報を誤認識することがあります。

ーバイアス(偏見)ー

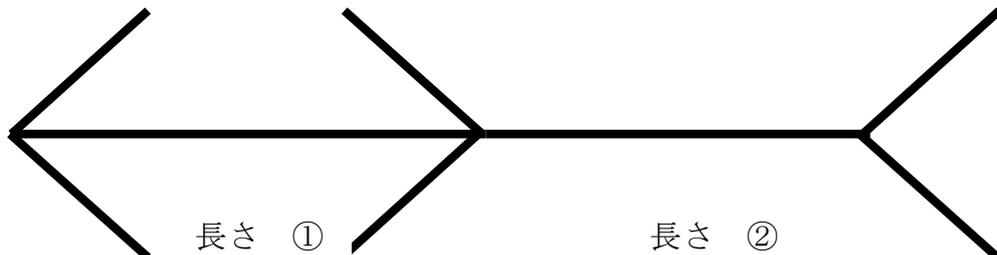
■まずは、“12”と“14”を指で隠して見て下さい。

次に、“A”と“C”を指で隠して見て下さい。中央の文字が、“B”とも読めるし、“13”とも読めます。“A13C”と“ABC”と、二つの薬剤名を間違えてしまうかもしれません。

人は、同じ文字でも、周りに影響されて都合のいいように読んでしまいます。

12  
A B C  
14

■下の図の直線。①と②、どちらが長いですか？



A:①の方が長い

■錯視、あるいは目の錯覚の有名な図です。オリジナルは①と②を同じ長さで書きます。

②の方が長く見えますが、実際は同じ長さ、というのがオリジナルの答えです。

しかし、この問題ではあえて①の方を長く書きました。よって答えは①です。ボールペンや指などで実際に計れば正解が出ます。

既成概念にとらわれず、確認を行って根拠のある答えを出して下さい。

## 大腸憩室炎について

- <憩室> 大腸の壁の一部が外へ袋状に飛び出た状態  
<憩室炎> 憩室が外に飛び出ている分腸の中身(つまり便)が流れにくく、そこで細菌が繁殖する事で炎症を起こす病気です。

### <憩室炎原因>

- 先天性 胎児の時の卵黄腸管というものが、一部残ってしまう事でできます。  
後天性 牽引性 炎症で腸管が引っ張られて憩室が形成される事で形成される。  
圧出性 消化管内の圧力が高まった時に、飛び出す事で形成される。  
(ほとんどは後天性が多いようです。)

### <症状>

- ・炎症が軽い時は腹部が周期的に痛み下痢や便秘をします。
- ・炎症が進むと腹痛、発熱、血便がでます。
- ・さらに炎症がひどくなると、憩室に穴があき腹膜炎と結腸周囲炎を起こします。

### <検査>

- ・血液検査(白血球上昇。)
- ・腹部 CT(憩室まわりの脂肪の炎症。)
- ・注腸造影(憩室の有無。)
- ・大腸内視鏡(出血部位を特定する。)

### <治療>

- ・軽症の憩室炎は消化のよい食事を摂り抗生物質を内服する。
- ・発熱がある時は、抗生物質を点滴したい症状に応じては入院し絶食とする。
- ・腹膜炎や憩室周囲に膿がたまった時は手術が必要になります。

### <憩室炎を予防する生活習慣>

- ・食物繊維をたっぷり摂る。
- ・運動をする。
- ・水分をたっぷり摂る。
- ・決まった時間にトイレに座る。



## KMCカフェ開店のお知らせ

季節はあっという間に移り変わり、秋の気配が感じられます。季節の変わり目ですので、患者様におきましては、より一層の体調管理をお心がけ下さい。

さて、夏より建設が行われておりました増築施設が本年 8 月 25 日に竣工を迎えることができました。

新施設は「管理棟」といい、当院で使用する資材、物品類の集中管理及び管理部門の事務所があります。加えて、患者様のご利用を目的としたカフェテリアと談話室も併設いたしました。9 月 17 日より、カフェテリアが利用可能となっております。

今回、カフェテリアのご利用についてご案内致します。

名称は「KMCカフェ」といい、営業は朝 6:00 から夕方の 6:00 までとなっております。診察前の待ち時間や診察後の休憩、付添いの方々との団らん等にご利用ください。カフェ内には各種お飲物に加え、ちょっとした軽食も販売しております。

患者様ならびにご家族やお見舞いの方々のお時間が有意義なものになるようご利用いただければ幸いです。当院へお越しいただいた皆様が気持ちよくお過ごしできるよう、スタッフ一同さらに検討をしていきます。ご要望やご意見等ございましたらお近くのスタッフまでお申し付けください。

なお、施設内はすべて禁煙となっておりますのでご協力ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

